

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年8月7日
【四半期会計期間】	第47期第2四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	クリエートメディック株式会社
【英訳名】	CREATE MEDIC CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 正浩
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
【電話番号】	(045)943-2611(代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部長 今澤 修
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
【電話番号】	(045)943-2611(代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部長 今澤 修
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第2四半期連結 累計期間	第47期 第2四半期連結 累計期間	第46期
会計期間	自 2019年 1月 1日 至 2019年 6月30日	自 2020年 1月 1日 至 2020年 6月30日	自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	5,158,867	5,082,881	10,843,961
経常利益 (千円)	448,116	378,699	1,065,827
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	306,083	248,126	725,054
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	194,580	127,627	643,167
純資産額 (千円)	12,884,981	13,116,414	13,175,091
総資産額 (千円)	17,076,045	17,114,858	17,157,621
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	32.86	26.64	77.83
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	75.5	76.6	76.8
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	457,427	445,491	880,331
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	239,246	20,588	511,630
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	291,433	280,697	532,587
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	3,529,150	3,593,049	3,426,523

回次	第46期 第2四半期連結 会計期間	第47期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 2019年 4月 1日 至 2019年 6月30日	自 2020年 4月 1日 至 2020年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	27.58	25.86

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間では、新型コロナウイルス感染症が拡大し、当社の事業に少なからず影響を与えておりますが、今後の感染症拡大が長期に及ぶ場合は、当社事業にさらなる影響を及ぼす可能性があります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症を背景に、緊急事態宣言による外出自粛や活動制限の経済への影響は大きく、今後の感染拡大リスクを含め、先行き不透明感が高まっております。

医療機器業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響は深刻であり、医療機関では、医療体制が逼迫するなか、重症患者の病床確保のため、緊急性の高くない診療や手術を一部休止しており、また、外来患者も外出自粛により不要不急の受診を控える傾向にあるなど、病院経営はさらに厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、医療現場に貢献できるよう製品の安定供給に努めることを最重要方針とし、従業員の安全確保と感染防止対策を徹底し、事業を進めてまいりました。

これらの活動により、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,082百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益400百万円（前年同期比15%減）、経常利益378百万円（前年同期比15.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益248百万円（前年同期比18.9%減）となりました。

販売形態別の販売状況は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第2四半期連結 累計期間	当第2四半期連結 累計期間	前年同期比	
			金額	増減率
自社販売	3,107	3,131	23	0.8%
海外販売	1,441	1,377	64	4.4%
OEM販売	609	574	35	5.8%
合計	5,158	5,082	75	1.5%

< 自社販売 >

自社販売は、新型コロナウイルス感染症により、院内の感染防止対策として医療従事者への訪問・面会が制限されましたが、緊急事態宣言が解除された6月以降はWEB会議を活用し、段階的に営業活動を再開しました。

このような状況の下、消化器系のイレウスチューブや胃瘻造設関連製品が手術の一部休止により減少しましたが、泌尿器系のフォーリートレイキットが堅調に推移するとともに、消化器系の新製品「大腸・胃十二指腸用ステント『NEXENT（ネクセント）』」も2月の発売開始以降売上を伸ばしたことにより、売上高3,131百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

< 海外販売 >

海外販売は、輸出版売が欧州向けの泌尿器系・消化器系製品を中心に、好調を維持しました。

一方、中国販売は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2月以降の営業活動を一時的に休止したことや、医療機関の治療・検査が前年に比べ大きく減少したことにより、売上高1,377百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

< OEM販売 >

OEM販売は、消化器系の新製品の売上寄与があったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による血管系製品の検査数減少により、売上高574百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

財政状態の概況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して42百万円減少し17,114百万円となりました。これは、商品及び製品の増加240百万円、原材料及び貯蔵品の増加177百万円、投資有価証券の増加161百万円に対し、現金及び預金の減少240百万円、受取手形及び売掛金の減少282百万円、流動資産のその他の減少102百万円が主な要因であります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して15百万円増加し3,998百万円となりました。これは、電子記録債務の増加128百万円、その他流動負債の増加125百万円に対し、支払手形及び買掛金の減少126百万円、長期借入金の減少92百万円が主な要因であります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して58百万円減少し13,116百万円となりました。これは、利益剰余金の増加61百万円に対し、その他有価証券評価差額金の減少27百万円、為替換算調整勘定の減少102百万円が主な要因であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	457	445	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	239	20	259
財務活動によるキャッシュ・フロー	291	280	10
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,529	3,593	63

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は445百万円となりました。これはたな卸資産の増減額429百万円、法人税等の支払額178百万円などの減少に対して、税金等調整前四半期純利益390百万円、減価償却費200百万円、売上債権の増減額325百万円、その他流動資産の増減額126百万円などの増加が主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は20百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出114百万円、無形固定資産の取得による支出54百万円、投資有価証券の取得による支出200百万円などの減少に対して、定期預金の払戻による収入388百万円の増加が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は280百万円となりました。これは長期借入金の返済による支出83百万円、配当金の支払額186百万円の減少が主な要因です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、297百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月7日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	9,664,327	9,664,327	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	9,664,327	9,664,327	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日	-	9,664,327	-	1,461,735	-	1,486,022

(5)【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
つづき企画株式会社	横浜市都筑区池辺町7001-8	1,154	12.39
中尾 廣政	相模原市南区	644	6.92
公益財団法人中尾奨学財団	横浜市緑区十日市場町885-17	600	6.44
株式会社横浜銀行	横浜市西区みなとみらい3-1-1	422	4.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	375	4.03
中尾 政嗣	相模原市南区	251	2.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	216	2.32
株式会社北海道銀行	札幌市中央区大通西4-1	211	2.27
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2-1-1	211	2.27
笠原 正孝	東京都目黒区	200	2.15
計	-	4,287	46.03

(注) 1 上記日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株数のうち、信託業務に係る株式数は375千株であります。

2 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の所有株数のうち、信託業務に係る株式数は215千株であります。

(6)【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 349,000	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,306,300	93,063	同上
単元未満株式	普通株式 9,027	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,664,327	-	-
総株主の議決権	-	93,063	-

(注)「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式88株が含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
クリエートメディック株式会社	横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号	349,000	-	349,000	3.61
計	-	349,000	-	349,000	3.61

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,330,833	4,090,469
受取手形及び売掛金	1 2,326,970	2,044,628
電子記録債権	1 1,076,711	1,030,530
商品及び製品	1,637,080	1,877,282
仕掛品	739,223	712,440
原材料及び貯蔵品	648,354	826,327
その他	371,275	268,888
貸倒引当金	1,000	1,000
流動資産合計	11,129,450	10,849,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,683,199	2,558,349
機械装置及び運搬具(純額)	394,213	361,542
土地	1,658,678	1,658,678
建設仮勘定	63,305	69,958
その他(純額)	353,123	371,888
有形固定資産合計	5,152,520	5,020,418
無形固定資産		
借地権	153,178	147,239
その他	81,132	230,336
無形固定資産合計	234,310	377,575
投資その他の資産		
投資有価証券	260,378	421,874
繰延税金資産	332,514	380,726
その他	48,447	64,695
投資その他の資産合計	641,339	867,296
固定資産合計	6,028,171	6,265,291
資産合計	17,157,621	17,114,858

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,569,604	443,359
電子記録債務	102,964	231,745
短期借入金	900,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	166,400	175,600
未払法人税等	107,329	110,441
賞与引当金	44,873	45,093
役員賞与引当金	19,013	8,742
その他	741,436	866,867
流動負債合計	2,651,621	2,781,850
固定負債		
長期借入金	92,400	-
退職給付に係る負債	1,123,011	1,121,485
資産除去債務	3,472	3,510
長期未払金	78,337	71,475
その他	33,686	20,122
固定負債合計	1,330,908	1,216,593
負債合計	3,982,530	3,998,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	10,292,496	10,354,318
自己株式	291,407	291,407
株主資本合計	12,948,847	13,010,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,155	3,010
為替換算調整勘定	277,544	174,649
退職給付に係る調整累計額	81,455	71,914
その他の包括利益累計額合計	226,244	105,745
純資産合計	13,175,091	13,116,414
負債純資産合計	17,157,621	17,114,858

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,158,867	5,082,881
売上原価	2,685,937	2,697,467
売上総利益	2,472,929	2,385,414
販売費及び一般管理費	1,200,670	1,198,823
営業利益	471,259	400,590
営業外収益		
受取利息	14,056	13,492
受取配当金	3,556	3,049
保険配当金	1,005	3,172
その他	8,510	3,604
営業外収益合計	27,129	23,318
営業外費用		
支払利息	4,053	4,181
為替差損	45,557	36,690
その他	661	4,338
営業外費用合計	50,272	45,209
経常利益	448,116	378,699
特別利益		
補助金収入	23,868	24,082
特別利益合計	23,868	24,082
特別損失		
製品回収関連費用	-	12,558
特別損失合計	-	12,558
税金等調整前四半期純利益	471,984	390,223
法人税、住民税及び事業税	199,392	183,046
法人税等調整額	33,491	40,950
法人税等合計	165,901	142,096
四半期純利益	306,083	248,126
親会社株主に帰属する四半期純利益	306,083	248,126

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	306,083	248,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,641	27,144
為替換算調整勘定	114,900	102,895
退職給付に係る調整額	9,038	9,541
その他の包括利益合計	111,503	120,499
四半期包括利益	194,580	127,627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	194,580	127,627
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	471,984	390,223
減価償却費	187,451	200,213
賞与引当金の増減額(は減少)	25,190	511
役員賞与引当金の増減額(は減少)	9,174	10,270
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	114	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	29,997	12,973
受取利息及び受取配当金	17,613	16,541
支払利息	4,053	4,181
有形固定資産除売却損益(は益)	-	2,764
為替差損益(は益)	13,458	11,391
売上債権の増減額(は増加)	181,359	325,672
たな卸資産の増減額(は増加)	148,353	429,693
仕入債務の増減額(は減少)	96,340	19,106
未払消費税等の増減額(は減少)	73,917	38,048
その他の流動資産の増減額(は増加)	52,509	126,382
その他の流動負債の増減額(は減少)	57,769	76,575
その他	7,167	24,601
小計	671,321	612,626
利息及び配当金の受取額	17,618	16,547
利息の支払額	3,238	4,840
法人税等の支払額	228,274	178,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	457,427	445,491
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	109,830	-
定期預金の払戻による収入	-	388,620
投資有価証券の取得による支出	599	200,593
有形固定資産の取得による支出	124,747	114,040
無形固定資産の取得による支出	3,189	54,027
敷金及び保証金の差入による支出	994	200
敷金及び保証金の回収による収入	114	829
投資活動によるキャッシュ・フロー	239,246	20,588
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	83,200	83,200
配当金の支払額	194,785	186,131
リース債務の返済による支出	13,448	11,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	291,433	280,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,383	18,856
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	100,636	166,525
現金及び現金同等物の期首残高	3,629,787	3,426,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,529,150	1 3,593,049

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日又は現金決済日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形等が、前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
受取手形	15,000千円	- 千円
電子記録債権	56,184	-
支払手形	79,761	-

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主な費目及び金額

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
給料手当	900,407千円	924,151千円
賃借料	70,302	67,819
賞与引当金繰入額	30,231	27,002
役員賞与引当金繰入額	9,506	8,742
退職給付費用	59,392	59,080
役員退職慰労引当金繰入額	114	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金勘定	4,278,581千円	4,090,469千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	749,430	497,420
現金及び現金同等物	3,529,150	3,593,049

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	195,622	21	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金

(注) 1当たり配当額21円には設立45周年記念配当2円が含まれております。

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年8月1日 取締役会	普通株式	158,361	17	2019年6月30日	2019年9月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	186,304	20	2019年12月31日	2020年3月30日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年8月4日 取締役会	普通株式	158,359	17	2020年6月30日	2020年9月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ディスプレイカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	32円86銭	26円64銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	306,083	248,126
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半 期純利益金額(千円)	306,083	248,126
普通株式の期中平均株式数(株)	9,315,367	9,315,239

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第47期（2020年1月1日から2020年12月31日まで）中間配当については、2020年8月4日開催の取締役会において、2020年6月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	158,359千円
1株当たりの金額	17円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年9月8日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月7日

クリエートメディック株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川村 敦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 笠島 健二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクリエートメディック株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クリエートメディック株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。